

1. 指定管理者名	一般財団法人 たじみ・笠原タイル館
2. 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1)多治見市モザイクタイルミュージアムの事業の実施に関すること (2)多治見市モザイクタイルミュージアムの維持管理に関すること (3)観覧料、利用料金に関すること (4)減免対象者の利用に関すること (5)施設等の利用許可に関すること (6)その他の業務

4. 採点表		評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	0	目標値(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点				
			②利用人数	10	目標値(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 目標値比とは、指定管理者が指定管理全期間分を指定管理者候補団体選定及び評価委員会に諮り、決定した値を実績値で割って求めた率をいう。 上記(2)適用 平均値比(107%) = 利用人数(日平均)262人【R5】 ÷ 245人【R4(282人)～R3(207人)】	105%以上 5点	R5年度入館人数 80,555人≪R4年度:86,745人、R3年度:56,457人≫ R5年度開館日数 308日≪R4年度:308日、R3年度:273日≫ 【1日平均 262人/日≪R4年度:282人/日、R3年度:207人/日≫ ・体験工房利用者 19,458人≪R4年度:18,626人、R3年度:11,171人≫ 開館8年目となり、2年目の平成29年度の入場者が最高値であり、その後は年々減少が続いているものの、開館前の想定を上回る入場者数であり、十分な実績を残している。 設立当初は独創的な形状の建築と相まってメディアに多く取り上げられ来館者の増加につながったが、現在はタイムリーな企画展、他機関等との連携により、モザイクタイルの魅力を広げること、来館者数の維持に努めている。 ・新型コロナウイルスが5類移行したが、目標年間来館者数10万人に届かず、昨年度の来館者数より6千人程減少している。ただ一方で、体験工房の利用者数は増加しており、また国内外からのツアー客が増加している点は評価できる。昨今のインバウンド需要を上手に取り込み、さらに来館者数を増加させる取り組みに期待したい。	10点
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	0	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点					
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	30	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る:2～0点	・企画展年間3本「アート」を組む人々 ミスアートとモザイクタイル画の仕事、「工場賛歌 焼成編」、「収蔵庫大公開 モザイクタイルの過去・現在・未来」を開催。また、これら企画展に関わる様々な関連企画も実施。 ・体験工房では、ワンコイン工作(フォトフレーム等制作)を実施(利用者19,458人)。 ・リサイクルタイルのワークショップを開催。 ・その他、館外活動、他機関との協力、連携、収蔵資料に関する事業等を実施。 ・令和5年度は、新型コロナウイルスの5類移行を受け、年間来館者目標数10万人には届かなかったが、総来館者80万人を達成した。 ・国内バスツアー(48団体・1,143人)や海外からのツアー(15団体・426人)の来館があり、ツアー客が増えている	期待以上 13点	・新たな学芸員が2名入り、ギャラリートークという今までにない新たな企画を実施した。普段接点のない一般市民が近い距離でタイル業界の話を知ることができ、また、タイル業界の記録保持という観点からも貴重な催事であると評価できる。モザイクタイルミュージアムはタイル業界にとって文化的に重要な施設である一方で、多治見市の重要な観光施設でもある。タイルファン向けの企画展が多くある一方、タイルに興味がない人も興味を持ってもらう大きな入口として、ある意味でタイルに囚われない、柔軟な発想で魅力的な企画・催事を開催してもらいたい。 ・入館料が美濃焼ミュージアムが320円に対し、モザイクタイルミュージアムは310円である。同じ金額であるべきという訳ではないが、昨今の物価上昇を考慮して入館料の増額を検討してもらいたい。また、多くの人が興味を惹かれる魅力的な企画展を開催して、他のミュージアム施設(現代陶芸美術館など)のように入館料とは別で企画展料金を得ることも検討してもらいたい。 ・多治見市教育研究所と連携した「土曜講座」等、教育機関との連携は小中学校で地域学習の一助となっている。	26点			
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況 (10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する(適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	適正に実施されている 施設周辺他施設と連携して月1回(第3木曜日)地域清掃を実施している	適正(普通) 2点		
			②保守・点検		適正に実施されている	適正(普通) 2点	照明、空調、給排水などの設備を日常的に点検。空調は、定期的にフィルターを取替えている。植栽等の剪定を適宜実施している。		
			③保安・警備		適正に実施されている	適正(普通) 2点	館内に監視カメラを設置し、作品の監視、来場者の安全を確保。防火管理有資格者を配置。		
			④小規模修繕		適正に実施されている	適正(普通) 2点	市への連絡も含め、適宜対応している。		
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)		適正に実施されている	適正(普通) 2点	常に施設全体に目を配り、安全確保に努めている。		
		(2)その他管理業務の実施状況 (15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する(期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	適正に実施されている	適正(普通) 2点	文書はキャビネットやレターケースで適切に管理。	
			②環境への配慮			適正に実施されている	適正(普通) 2点	社内用の文書には、古封筒や裏紙を使用。	
			③バリアフリー			適正に実施されている	適正(普通) 2点	通路、展示室、工房の出入り口など、車椅子等に十分対応できる広さが保たれており、また段差もない。	
			④備品管理			適正に実施されている	適正(普通) 2点	管理者備品については、市とは別の台帳で管理されている。	
			⑤個人情報保護			適正に実施されている	適正(普通) 2点	個人情報が含まれる書類等については、鍵のかかるキャビネットで保管し、パソコンでは、個人情報をパスワードをかけて共有フォルダーで管理している。	
⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故等に対し、適宜対応した 降雨時の水の染み(1件)、自動ドアの開閉異常(1件)、白アリの発生(1件)、壁面の汚れ(1件)発生 等	事故なし・対応に不備なし 0点	事故等については適宜対応。市へも報告あり。	0点			
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入 111,596,409 ÷ 支出 88,794,767 = 126% 事業収入のうち、多治見市指定管理者緊急支援金¥1,353,190円の支給あり (R5. 4～R6.3)	105%以上 5点	適切に経営されている。	5点	
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	来場者へのアンケートを実施し、改善内容を適宜実施している。	期待以上 8点	・1階暖炉前にアンケートを常設し、来場者のニーズの把握に努めている。 ・要望等について、職員で情報を共有し、改善点を洗い出し、適切な対応を実施している。 ・アンケートの結果を集計し、企画展や展示方法など事業に反映している。 ・館内連携の2階産業振興フロアでは、来館者を含めたエンドユーザーへタイルの活用方法を提供できる場として、インテリアコーディネーターによるタイル相談会を開催。タイルの活用方法を視覚的にわかりやすく提案している。	8点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情に対し、適宜対応された	苦情なし・適正(普通) 4点	メール等での苦情に対して適宜対応している。	4点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	・新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等マスコミの取材年間112件(前年256件) ・細かなマニュアルの見直しや、視察等による職員研修の実施による接客の向上、業務改善の取り組みを実施。	期待以上 12点	マスコミ等の取材に対して、丁寧な対応がなされている。多数の取材があり、旅行雑誌などでは、この地方の定番スポットとなっている。ただ一方で、取材件数が昨年の半分以上となっている。建設から年数が経ったことも理由として挙げられるかもしれないが、今後はより一層、話題になる企画・イベント等の開催を期待したい。海外からのツアーが多くあり、国内需要だけでなくインバウンド需要にも応える姿勢が見える。	12点	
5	その他 (5点)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	適正に実施されている	遅れ・不備なし 減点なし	期限内に適正に提出されている	0点	

評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点
(減点方式)	(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	適正に実施されている	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	0点
	合計	100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下			合計85点
					全体的な評価 今のところは事業に関して仕様書どおりに実施され、知名度、集客効果も十分図られてはいるが、この先の経営、集客を見据えた運営をしてもらいたい。大きな苦情等は特にないが、職員が施設を訪問した際の受付の様子を見ると、お客様対応が心配である。多治見市の顔である施設だと自覚して窓口対応をしてもらいたい。	極めて良好

5. 来年度の管理運営(事業執行)に対する指示事項等、評価委員会において出された意見
<ul style="list-style-type: none"> ・総合評価書の得点について、担当者評価から自主事業は24点を26点、苦情対応は3点を4点、よりよい施設運営・事業実施のための提案・姿勢は10点を12点に変更して、合計85点(極めて良好)とする。 ・多治見の観光の拠点として、他施設とも連携を取り、多治見の雰囲気をよくして欲しい。 ・報告資料を見ると、台湾など海外からのツアーがあり非常に素晴らしい。 ・セラミックパーク美濃と相互で海外のお客様について情報共有をしていきたい。